

教室にクーラーの設置を

町長 冷房設備整備に向けた調査を実施する



石川重二議員

ひとり暮らし高齢者への支援は

問 ひとり暮らし高齢者は、冬場が最も大変である。外出するにも玄関先まで雪がある。具合が悪く電話も取れなくなればなおさらである。対応は。

町長 課税の状況等、高年齢者世帯に対する除雪支援を実施している。29年度は91世帯に支援した。

また、緊急時に簡単な操作で通報できる機器の設置もしている。設置には課税の状況等の条件がある。条件に該当しない場合は、民

間サービスを紹介している。

地域の支え合いを

問 町内の方々に声をかけて支援を。

町長 高齢化が進む中、地域での支え合いは重要である。地域でできる支援の形を検討いただき、その実現に向け町が支援する形で地域の支え合い体制を作っていただければと考える。

みんなで協力して除雪を

問 道幅や住宅の出入り口を確保するため、住民の協力による地域の除雪体制の整備を進めるべきでは。

町長 基本的に町道除雪は町が業者に委託して行うが、狭いところなど地域から協力いただければ大変ありがたい。

協力いただける仕組みについて、どのような手法が効果的か、また、町がどのように支援できるか、検討していく。

学校冷房設備の改善を

問 今後も猛暑が続くことを想定し、学校の冷房設備の改善をすべき。

町長 政府は、全国の公立小学校に冷房を設置するための予算措置をする方針であると聞いている。町では、まずは小・中学校の冷房設備整備に向けた基本調査を実施する。



あついなあ・・・

問 教室数はどのくらいか。

教育次長 現在、空調設備は、各小・中学校の特別教室計8室に設置されている。

今後、基本調査により整備規模、概算事業費を把握し、財源等も含め検討を進めていく。



子どもたちの教育環境を一番に